

## 令和5年度 檜原村住民対話集会

令和5年9月21日(木) 19時30分～21時00分

檜原村役場住民ホール

村側出席者：村長、副村長、教育長、総務課長、村民課長、福祉けんこう課長、  
企画財政課主幹

参加人数：25人

【企画財政課主幹】(趣旨説明)

【村長】

開かれた村政の一環として実施する。忌憚のない意見をお願いします。  
(産廃施設経過報告)(今までの経過の説明)

《意見交換》

■対話集会の開催について防災無線がなかった。どうしてなかったのか。

→【村長】

広報に掲載して周知しており、防災無線で放送する予定はなかった。要望をいただいたので、急ぎょ放送することにした。

■「開かれた村政」とは何か。

→【村長】

事業を計画段階から住民にお知らせするなど、村民から村政が見えるよう、ガラス張りにする。また住民全体会議の開催などを通じて、村内の情報共有を促す。

■対話集会の内容は公開しないのか。

→【村長】

有効なものは取り上げる。議事録等は広報等で公開する。

■産廃の件、村にそぐわないものだった。今はどのような協議をしているのか。

→【村長】

弁護士等と相談して、産廃施設のようなものを作らせない形にできるよう条例整備等を行っていく。村を守るための有効策を検討している。

■今回、防災無線で周知がなかったことは苦言を呈す。積極的な情報提供をしてほしい。産廃問題については何月までに、という目途を持って検討しているのか、それともその期日

を含めて検討中なのか、教えてほしい。

→【村長】

内容を慎重に審議している。いつ、というのはまだ見えない状態だが、有効な条例を早めに制定したい。

■産廃の用地関係について、水路の位置関係等どう考えているのか。

→【副村長】

一部村道公道が入っていることは承知している。測量を行うことも含めて検討している。今しばらく時間をいただきたい。

■産廃について、村長宛てに内容証明を送っている。業者に水路等の復旧をさせないのか？

あの土地は、地熱発電が可能。災害の受け入れ地にもなる。都民・国民のための被災者の受け入れ地としてはどうか。補助金は5千万円もらったら1億円にするくらいの政策をとるべきだと思う。檜原が100年持つような自立する村を目指してほしい。

→【村長】

いただいた内容証明については、幹部の方で検討している。第一段階として、担当を含めて検討し、どうするか決定していく。跡地の件は、議員の皆様からも色々な提案をいただいている。ただ、あそこは業者の土地なので、私からどうしろということとは言えない。業者から色々な提案をもらえれば、一緒に考えていくスタンス。安心・安全は村が願っていることなので、100年先までの村政を作るために私も頑張っていく。

■今日の参加者について、多いと思うか、少ないと思うか。

→【村長】

「開かれた村政」の姿勢を示すために行っている。人数が多い・少ないは考えていない。

■所信表明について どのような村にしたいのか聞かせてほしい。優先度など。

→【村長】

政策、4項目に分けて書いている。開かれた村政、村民の生活、時代に合わせた新産業の育成（観光・農林業）、産廃阻止。檜原村は企業誘致をしてもなかなか入ってこない。私は檜原村を「環境を守る地域」にしたい。誘致をして、そこから税金を得るのもいいが、環境を守るためにCO2削減をして貢献し、都会の人々には檜原村に対して恩を返してもらえるような政策をしていきたい。知事からも「檜原村は緑豊かなので環境を守ってほしい」と言われている。

■企業誘致の件。南郷小学校跡地に企業誘致をする話が持ち上がっていたが、進捗はどうか。

→【企画財政課主幹】

事業者の方で動いている。現在は測量を終え、設計を行っている。今後、設計がある程度出来た段階で、地元の皆様に説明会という形でご案内したい。

■山林に人手が入っていないと人が住んでいないイメージになってしまう。なるべく道路脇の伐採などを行って、手が入っているようにしていただきたい。また公衆トイレ・駐車場の設置等の取り組みは出来ないか。

→【村長】

川側の木を伐採するなど景観整備を進めている。観光客の印象が悪くならないよう、今後もしっかりやっていく。先日、あきる野市長と話して、戸倉から上流について一緒に景観整備をしていこうという話をした。トイレの設置整備の必要性も感じているので、検討していきたい。

■条例を作っても、職員がやらなかったら意味がない。私もこの一年、条例違反をしているので直せ、と言っても直そうとしない。いくら良い条例をつくっても仕方ない。村長としてどう指導していくのか。

→【村長】

条例を整備し、これに沿ってやっていくのが村の責務。職員がやらない場合にはやらせるように指導する。ただ、条例に違反しているのかも含めて、検討しないと出来ない。検討して、実行に移していく。

■条例違反している物件に対して補助金を出している。返還させる等しないのか。

→【企画財政課主幹】

他の皆さんもいるので、個別の案件についてはここでは区切らせていただいてもよいかな。

■では、次の人里の対話集会までに検討してほしい。

→【企画財政課主幹】

承知した。担当と相談して、人里の対話集会までに回答を用意できるようにする。

■檜原の自然保護と観光を考えると、山を雑木林に戻してほしい。

→【村長】

昭和30～40年代にかけて植林をした。檜原村は93%が山林、うち66%が植林したものだ。元に戻すのは大変なこと。私も人里のもみじの会で針葉樹から広葉樹への樹種変換をやっており、紅葉する雑木林が良いのは感じている。檜原全体で出来たらよいと思うが、なかなか難しいと思う。

■ 檜原の歴史を検証するつもりがあるのか。

→ 【教育長】

檜原の歴史と文化を引き継いでいければと思うが、量も範囲も広いので、檜原村文化財専門委員会でも全部を網羅し切れていないのが現状。民間でも、松姫研究会等の団体ができているので、そういった方々からもご意見をいただきながらすすめていければと思っています。

■ 檜原の村史を見ていて、間違いがあると思う。村史の見直し等の考えはあるのか。

→ 【教育長】

村史の見直しについては、予算がついて編纂委員会が立ち上がってくればよいなという思いはあるが、現在、編纂委員会は動いていない。紙ベースのものをデジタル化できないかと、アドバイザーの方に相談している。

■ 先ほど、ギター工場の話が出た。同社について、企業誘致の審査はどうなっているのか。

→ 【企画財政課主幹】

まだ申請が行われていない。ある程度設計が進み、事業化の目途がたったら申請すると聞いている。

■ ごみの減量について、どう考えているか。檜原・奥多摩・あきる野・日の出で運営している西秋川衛生組合の中で、檜原村が「一人当たりが出すゴミが一番多い」と聞いている。

→ 【村長】

取り組まなければと考えている。西秋川衛生組合に対して、ゼロウェイストの取り組みをしたいと話したが、「構成町村の全てが取り組まなければ西秋としてはやらない」という回答だった。11月に四国でゼロウェイストに取り組んでいる上勝町を視察し、どういう手法で取り組んだかを勉強してくる予定。村の中でも廃棄物減量推進委員というのがあり、どうしたらゴミを減らせるかという検討をしている。近いうちに結論が出ると聞いているので、そちらとも調整をしていきたい。

■ 6月議会で請願を出した。不法投棄や老朽化した空家、やぶの整備等を、住民だけでは難しいので村も一緒にやってくれるよう働きかけてほしいという請願だったが、村議会は不採択となった。理由は、不法投棄は警察案件であり、やぶはひのはら緑（力）の景観整備事業でやっているから採択の必要はないという趣旨だった。老朽空家の撤去については9月の補正予算で措置されていた。村として、不法投棄のごみ、老朽空き家をきれいにしていく考えがどのようにあるのか。やぶについても、従来の景観整備をより使いやすくしていく考えはないのか。

→ 【村長】

空家の件は、12月の補正予算で対応した。条件をクリアしているものについては、空家の除去に対する補助金を出す。

- 開かれた村政について。計画段階から村民に示していくという村長からの話だったが、示した後に、住民からの意見をどう吸い上げていくかが一番大事かと思う。パブリックコメントを募集したりするのだと思うが、ハブコメの条例・要綱などルールとして定めていくのが村民には分かりやすいと思うが、そういった考えはあるか。

→【村長】

開かれた村政については、先進的な団体の首長を招き、係長以上を対象に研修会を行った。予算を組んだ段階で公開していく。ハブコメなどで、どういう段階を踏んで進んでいるか、全てを公開したい気持ちでいる。実際は全てを公開できないかもしれないが、村民の要望が反映されていることが分かるような形で、今後はやっていきたい。要綱等については、できれば整備していきたいが、現段階では、やる・やらないの明言は避けさせていただきたい。

- 不法投棄について。あちらこちらに見られる。タイヤ、家電等いろいろあるが、これを処理する具体的な方策は何か。役場に持ってくれば処分してくれるのか。

→【村長】

不法投棄は犯罪。基本的には警察に通報していただくか、村に言ってもらえば村から警察へ通報して、警察に現場を見ていただく。

- 村民が役場に持って来るのではなくて、投棄された状態で、警察か村へ通報するというこ

とでよいか。

→【副村長】

まず不法投棄をさせないように、看板を建てたりネットを張ったりしている。もし不法投棄があった場合、早い段階で警察へ証拠を出したいので、ナンバー等を控えて警察へ通報をお願いしたい。警察で逮捕できれば、犯人に片づけさせる。それが出来なければ、村で職員が出向いたり、業者に委託したりと公費で処理することになる。なるべくそうならないようにしたい。

- 議会をインターネット中継や録画視聴ができないか。平日の昼間に傍聴に来られない人が多いと思うので。

→【村長】

議会事務局で、インターネット配信を行う方向で検討している。

- 住民としてお願いしたいことが3つある。その前に、今日の対話集会が始まる前に、私の

意見を聞いて席の配置を（環状に）変えてくれたことが嬉しかった。以前なら動いてくれなかったのではないかと思う。村民が言ったことに対して、村長も役場の人もすぐに受け入れてくれたことが、開かれた村政になってきたのではないかとすごく感じた。

→【村長】

私たちもご提案の形がよいと思ったので、すぐに対応させていただいた。

■以前、役場の方へ要望を伝えたときに、観光も関わってくる話なのに別の部署の中だけで止まっていて、観光部署に伝わっていないことがあった。今後、また「ひのはらアート」のイベントもある。観光客を呼べるチャンス。いろいろな部署が情報共有をしてほしい。

→【村長】

今後は、住民からの意見は村の幹部会で情報共有し、検討するようにする。

■今回の対話集会は3回あるが、全て夜なのでママさんたちが来られない。小さい子がいる親はどちらかに任せて1人で来るなどあるが、夫婦で来たい場合もある。子供を近所に預けるにしても、移住者だと難しかったりして、今日来られなかった人もいる。昼間の開催なども含めて考えてほしい。

→【村長】

昼の開催等については、今回は対応できなかったが、今後、皆さんが参加しやすいような形にできるよう検討する。

■あきる野のように、ゴミの日以外でも、発泡スチロールトレイや牛乳パック等を出せる場を作れないか。リサイクルの集積所があれば減量につながるのではないか

→【村長】

そういう場を設けられればいい。ゼロウェイストはそういうところから始まっている。生ごみを堆肥にして畑に戻すというような試みも聞いている。全体としてゼロウェイストの取り組みまではできないかもしれないが、ゴミを減らす政策として有効だと思っているので、それも含めて考えて行政を進めていく。

■私が50年前に檜原村に来た時、子どもたちはものすごくきれいな目をして、生き生きとして、たくましかった。お金が無くても、知恵や伝統文化があった。人々が学ぶ材料が檜原村にはたくさんある。森・畑・天然資源を使った技術。地域の人々が助け合いながら地域の生活を作っていた。今はなかなか見られないのが気になる。今、子どもたちをテーマにした話題が議会で見られないのが残念。

■ひとつ提案。村の子供にバスのフリーパスを与えて、都民の森も小林家も、バスでどこでも行ける環境を作ってほしい。いくらもかからないと思う。西東京バスの人に話したら

「いいじゃないか」という答えをもらったことがある。何よりも、子どもたちがバスの中で、村民と会話ができるのがとてもいいこと。子供たちに視点を当てた政策について聞かせてほしい。

→【村長】

バスのご提案は、子供がバスに乗ってどこかへ行ってしまわないか心配。檜原全域となると、(目の届かない) どこかへ行ってしまうのではという懸念もある。教育委員会とも相談しながら検討する。

■予算の件は、開かれた村政の中で、村長が選挙活動されたときのように一軒一軒回れば、解消するのかなと。そうすれば先ほどのバスの話などに予算を費やせるのではと思う。

■財源確保のために、奥多摩周遊道路を再び有料にできないのか。入村料、駐車料金

→【村長】

いろいろな制約があって、有料にはできないと思う。払沢の滝の駐車場を村が管理して、そこを有料にする等はできると思うので、検討して取り組んでいきたい。

■移住したいという方がすごく増えているが、皆「物件がない」と言っている。売りに出ている家はあるが1000万円代で金額も上がっているし、古民家に対してはローンも降りにくい。労働力人口になる年代の人が来にくいというのが現状。賃貸なら多くの移住希望者を受け入れられると思うので、賃貸の住宅を増やしていただけるとよい。

→【村長】

空き物件を貸しに出せない要因としては、三代前からの相続が終わっていない、だとか、色々あるようだ。相続アドバイザーを入れて、村民が相続しやすい形にして、賃貸物件に出せるようにしていきたいと思う。村でも積極的に土地や古民家を買う政策を進めている。

■交通アクセスを体系的に考えていただきたい。全国的に路線バスは廃止になっているので、いずれ村営バスも視野に入れるべきでは。

■こういった対話集会の様子をYouTubeで配信したり、Zoomでオンラインでやったりするといいと思う。

■議会のインターネット中継は、実現するよう議員さんに頑張ってもらいたい。

■山の仕事を村が積極的に支えてほしい。

■リサイクルセンターを地域に置くなど、諸外国の例もあるので参考にしてほしい。

■ニュージーランドの子供議会見てきた。子供のをきちんと捉える。参考にしてもらいたい。

【村長】（お礼のあいさつ）内容については議事録を作成し、村政に反映できることは反映していく。